

進路だより きぼうの道

秋田県立能代支援学校
進路指導部 NO.4
令和3年12月3日発行

現場実習の取組

「みんな仕事をするの？作業が難しい場合はどうするの？」

作業学習の発展として現場実習を実施しています。職業技能や意欲だけでなく、コミュニケーションや通勤・通所など、生活面を含めた総合的な体験学習です。

作業活動をする場合だけでなく、レクリエーションの体験、将来利用を希望する福祉サービスの日課に沿った生活、利用したい施設の見学活動など、一人一人の卒業後の生活に向けた活動を設定して実施しています。

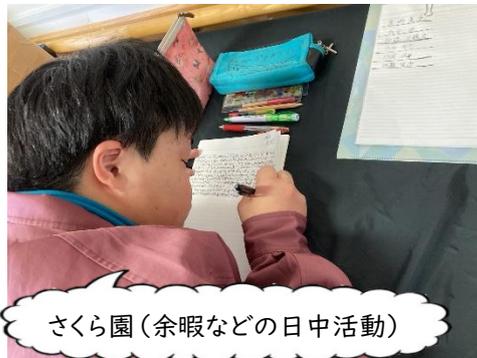
○高等部1、2年生後期実習

高等部2年生：11月8日(月)～11月19日(金)【10日間】

高等部1年生：11月15日(月)～11月26日(金)【9日間】



ねむの木苑(余暇などの日中活動)



さくら園(余暇などの日中活動)



ニツ井町庁舎
(本の返却作業)



ねむの木苑(生産活動)



接客業(レジ・注文業務)



小売業(本の加工、品出し)



りぼん
(リサイクル作業)



大瀧つくし苑
(袋詰め作業)



サポートつくし(銀杏の殻削り)



ぴあわーく(衣服の糸切り作業)



みらい(商品の袋詰め)

○中学部後期校内実習

11月18日(木)～12月2日(木)【10日間】

中学部は11月18日(木)から校内での実習が始まりました。期間は前期実習よりも5日長い、10日間となっています。実習後には、製作した製品の販売会「能代支援ショップ」があるので、全員が一生懸命取り組んでいます。

ハーブ加工班



「お昼寝枕」
のしつけ縫い

木工班



「コースター」
の塗装

農園芸班



花壇仕舞い



「そばがら」
の計量



「マグネットバー」
の研磨



小豆の
サヤ取り

小学部主事より

～小学部保護者進路研修会を受けて～

小学部主事 工藤 未央

11月25日(木)、小学部保護者進路研修会を行いました。学部単独での研修会は今回が初めてです。小学部、中学部の取組の説明のあと、中学部の校内実習を参観しました。同じ学校ですが、みなさん、他学部の授業を見学するのは初めてでした。実習5日目の中学部生徒たちは役割分担された作業を黙々と頑張っていて、「細かい作業をよく頑張っているな」「根気よく真剣に頑張っている」「マグネットバーを購入して使っている。長い方が使いやすい」などの感想をいただきました。また、進路指導主事との座談会では、卒業後の福祉施設での一日の過ごし方や、卒業生の仕事内容や就業時間、休日等について質問がありました。入所施設は待機者が多いという現実があることを知り、「高等部在学中に施設利用の申請ができるのか」といった、具体的な内容の話題にもなりました。また、事業所や作業所だけでなく、入所施設やグループホームなどの「生活の場」となる施設の情報も欲しいというご意見もありました。「『実習=仕事、就職』と思っていた」という保護者の方もいて、高等部の実習では、将来利用を考えている施設や作業所での生活を体験する生徒もいることを聞き、安心したとお話されていました。高等部3年間で様々な施設を体験し、子どもにも、施設側にもお互い知ってもらうために大事なことを確認しました。

今回の保護者進路研修会を通して、学校からの情報発信の仕方について考えさせられました。保護者の皆様の知りたい情報や知っておいてもらいたい情報を確実にお届けできるよう、研修会の持ち方も含めて今後改善していきたいと思います。今回参加できなかった皆様も、次回は是非お越しください。